

Gartner®

ガートナー データ & アナリティクス サミット

2022年9月14日(水)-16日(金)
ANAインターコンチネンタルホテル東京
gartner.com/jp/da

イノベーションを巻き起こし、
不確実性に適応せよ



参加登録受付中

2022年9月版

イノベーションを巻き起こし、 不確実性に適応せよ

先進的な組織では、コロナがもたらした混乱のさなかにおいて、データとアナリティクス(D&A)の活用度合いを高めています。ビジネス環境がいかに不確実で複雑であろうとも、D&Aは、高い価値と機会をもたらす原動力となるからです。

私たちが今向かっているのは「ニュー・ノーマル」ではなく、「ノー・ノーマル」です。D&Aを戦略の基盤とし、高度なテクノロジーと自社の人材の強みを生かし、アジャイルなプロセスによってイノベーションを起こすことで、不確実性に対する適応力を高められます。D&Aリーダーには今、D&Aでイノベーションを成功させ不確実性を克服すべく、正しい意思決定を下すことが求められています。

本サミットでは、革新的で適応力のある組織を構築する上でD&Aリーダーが直面する重要な課題を取り上げます。

主なトピックス 下記領域の最新リサーチを提供します。

- ・ データとアナリティクスのスキル構築／ガバナンス／戦略
- ・ アナリティクスとBI
- ・ 人工知能 (AI)
- ・ 情報アーキテクチャ
- ・ クラウド・アナリティクス、サービスとしてのデータ、クラウド・データ管理
- ・ データ・サイエンスと機械学習
- ・ データ・セキュリティとプライバシー
- ・ データ統合／データ・レイク／データウェアハウジング
- ・ マスタ・データ管理
- ・ リーダーシップ (組織文化、役割、組織構造を含む)
- ・ 最高データ責任者の役割と必要性
- ・ セルフサービス
- ・ 拡張アナリティクス
- ・ ストリーミング／リアルタイム・アナリティクス
- ・ 拡張データ管理

ほか

ガートナー基調講演



ドナ・メデイロス

シニア ディレクター,
アナリスト

ガートナー オープニング基調講演 イノベーションを巻き起こし、不確実性に適応せよ

組織はこの2年、大きな変化の渦に巻き込まれ、劇的に変化を遂げてきた。データとアナリティクスは、こうした変化の推進、実現、対応に重要な役割を果たしてきた。「いつか元に戻る」と考えたくもなるが、後戻りする必要はなく、今を生きていくしかないだろう。不確実性が続くこの世界では、データとアナリティクスによるイノベーションを駆使して、組織が求める成果を実現しなければならない。



フランク・バウテンダイク

ディスティングイッシュト バイス プレジデント,
アナリスト

ゲスト基調講演



株式会社CRISP
代表取締役CEO

宮野 浩史 氏

デジタルで飲食業の地位向上を目指すCRISPの取り組み

コロナが飲食業に影を落とす以前から、デジタル技術を駆使し、キャッシュレスやモバイルオーダーに対応したカスタムサラダ専門店を運営するCRISP。顧客体験の向上はもちろん、スタッフの働き方を含めた飲食業全体の地位向上を目指す、という自社のビジョンに取り組みの原点がある。その実現に向けて、他の飲食店でもモバイルオーダーなどを低予算かつ迅速に導入できるソリューションを展開し、そこで蓄積されたデータ活用を促している。本セッションでは、ビジョンを掲げて共感を得ることの重要性とともに、真のDXが社会にもたらす影響力を再確認する。

【プロフィール】

1981年千葉県生まれ。15歳で渡米し、18歳のときに現地で飲食業を起業。22歳で帰国し、タリーズコーヒージャパンで緑茶カフェ業態に5年携わる。その後、プリトール&タコス専門店「フリホーレス プリトール&タコス」を立ち上げる。現在はカスタムサラダ専門店「CRISP SALAD WORKS」の展開を通じて、デジタルトランスフォーメーションで既存の外食業界にイノベーションを起こすことを目指す。



アサヒグループジャパン株式会社
取締役 兼 執行役員

野村 和彦 氏

新しい「文化・風土」を創り上げたアサヒグループの経営変革

急激に変化するビジネス環境やお客様の価値観の多様化に対応する為、アサヒグループでは従来の業界常識に縛られない柔軟で新しいアプローチが求められています。「データに基づき、データを武器として活用できる事業推進」や「飲食を楽しむ為の新価値創造」の取組み実現に向け、経営にどのように働きかけてデジタルトランスフォーメーションを推進し、これまでの価値観に基づいた経営から、アサヒの「新しい常識」を創り上げる変革に必要な「投資」や「組織作り」を推進してきたか、その一端をご紹介します。

【プロフィール】

1991年アサヒビール株式会社入社、物流部門で需給調整業務、輸配送効率化の企画を担当。支社・工場・本店において16年間SCM改革に取り組む。2007年には株式会社エルビーに出向し事業再編を担う。2012年カルピス株式会社のPMI推進を担当し、以降国内飲料事業の経営企画を担当。2018年3月アサヒグループホールディングス株式会社経営企画部門にて中長期のグローバル経営計画の策定を担当。2020年3月日本統括本部 事業企画部長 兼 Value Creation室長を経て、2022年1月アサヒグループジャパン株式会社 取締役 兼 執行役員 事業企画部長に就任。

ゲスト基調講演



中国建設銀行
上海ビッグ・データ・
インテリジェンス・センター
運営責任者

林 建貞 氏

銀行業のデジタル・トランスフォーメーションにおける模索と実践

デジタル・エコノミー時代において、デジタル・トランスフォーメーションは商業銀行が将来的に発展する上で必然の流れである。世界全体を見渡すと、近年各国の商業銀行は相次いでデジタル・トランスフォーメーション戦略を打ち出しており、そのために莫大な資金と人的コストを投入している。中国建設銀行では2010年当初からデジタル・トランスフォーメーションに着手しており、デジタル・ミドル・オフィスの構築によりエンタプライズ・レベルの「データ&アナリティクス」インテリジェンス・センターを実現した。デジタル・トランスフォーメーションを積極的に模索し、実践することで、銀行を新たな発展の軌道に乗せている。

【プロフィール】

中国建設銀行・上海ビッグ・データ・インテリジェンス・センターの運営室責任者。2021年Gartner金融サービス・イノベーション賞（アジア太平洋地区）を受賞している。中国建設銀行は中国国有銀行の1つで、時価総額では世界第2位。上海ビッグ・データ・インテリジェンス・センターは、銀行全体のビッグ・データ分析／マイニングおよびインテリジェント・アプリケーションを担う実働組織である。



株式会社RDS 代表取締役
HERO X 編集長
4RE 代表
上智大学非常勤講師

杉原 行里 氏

ヘルスケアデータシステムの構築と身体データの可視化で起こすイノベーション

58歳で自己最速タイムを記録した伊藤智也選手と開発した車椅子レーサー WF01TRは、ユーザーにとって最適なシーティングポジションを導き出し、感覚の数値化を行うSS01によって開発。SS01は、リハビリの現場で一般の車椅子ユーザーに対し「シートポジションの最適化」の提案を行っている。臨床的に意義のある歩行解析を簡便に行うCORE-Lerは、被験者が歩行する際に追尾・追従して撮影・解析することによって、被験者の抱える目に見えない未病リスクを解析する最新デバイス。あらゆる健康データを集約し、独自のアルゴリズムを用いて『新たな健康診断の指標』を導き出す、ヘルスケアデータシステムの構築を目指す。

【プロフィール】

イギリスの全寮制高校を経て、Ravensbourne Universityにてプロダクトデザイン専攻。RDSは、モータースポーツ事業を始め、医療福祉、最先端ロボットなどの研究開発型企業。2019年から2021年までF1アルファタウリ・ホンダ、2021年からはGT500に参戦するAstemo REAL RACING、2022年からワールドスーパーバイク参戦のMIE Racingとパートナーシップを結ぶ。グッドデザイン金賞『ドライカーボン松葉杖』、A' Design Award 2020／プラチナ『WF01』など受賞。DA'C World's 2nd Best Designer in 2021。座位解析シミュレーター SS01を用いて、58歳でPBを記録した伊藤智也選手と共に車椅子レーサー WF01TRを開発。

主な受賞歴

- グッドデザイン2013金賞／経済産業大臣賞
- 渋沢栄一ビジネス大賞2013 ベンチャースピリット部門奨励賞
- A' Design Award & Competition 2020 プラチナ受賞、ゴールド受賞、ブロンズ受賞
- グッドデザイン2020を4作品受賞
- クールジャパン・マッチングアワード2019準グランプリ／CYBERWHEEL X
- A' Design Award & Competition 2021 ゴールド受賞、シルバー受賞、ブロンズ受賞
- グッドデザイン2021

ゲスト基調講演



慶應義塾大学
総合政策学部
教授

中室 牧子 氏

教育に科学的根拠を 学びなおしが求められる今、リーダーが再確認しておきたい、 教育の意義や在り方

- 日本の教育政策の問題点
- 「私の経験」による支配
- 「勉強しなさい」は効果的か
- どうすれば子どもの勉強時間が伸びるのか？
- 子どもをご褒美で釣ってはいけないのか？
- 幼児教育の重要性
- エビデンスとは
- 次世代にもっと予算を
- 非認知能力とは何か
- 親の役割とは
- 教員の質の重要性
- 教員の「質」を何で測るのか
- なぜ日本で研究が進まないのか

パネル・ディスカッション

データ人材の採用、育成、活躍をいかにリードするか

パネリスト(社名五十音順)



慶應義塾大学
総合政策学部
教授

中室 牧子 氏

【プロフィール】

慶應義塾大学総合政策学部 教授。公益財団法人東京財団政策研究所 教育主幹。
慶應義塾大学卒業後、日本銀行等を経て現職。コロンビア大学にてMPA、Ph.D.取得。
専門は教育経済学。国の産業構造審議会、規制改革推進会議等で有識者委員を務める。著書はビジネス書大賞2016準大賞を受賞し発行部数30万部を突破した『「学力」の経済学』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、週刊ダイヤモンド2017年ベスト経済学書第1位の『原因と結果』の経済学』(共著、ダイヤモンド社)など。2021年9月からデジタル庁のデジタルエデュケーション統括。



一般社団法人データサイエンティスト協会
代表理事
デジタルリテラシー協議会 協議委員

高橋 隆史 氏

【プロフィール】

一般社団法人データサイエンティスト協会代表理事であり、2004年創業の日本で最も歴史のある独立系データ分析企業、株式会社ブレインパッドの創業経営者。
そのビジネスを通じ、日本におけるデータ活用人材の状況を深く理解していたため、2010年代のビッグデータブームとともにデータサイエンティストという新しい職種が脚光を浴びた際、その健全な発展のために同志を募り、2013年にデータサイエンティスト協会を設立、以降、代表理事を務める。協会では、日本においてデータサイエンティストに求められるナレッジやスキルを定義することで人材育成に不可欠となる基準や前提を整備して啓発活動をする他、各種調査、セミナーの企画、交流会の主催などを行い、データサイエンティストが活躍するための環境整備に総合的に取り組んでいる。2021年より日本のデジタルリテラシーの一層の向上に向け、検定試験事業も開始している。



三井住友海上火災保険株式会社
執行役員 ビジネスデザイン部長

本山 智之 氏

【プロフィール】

1989年三井海上(旧大正海上)火災保険株式会社に入社。営業・営推・人事を経て、2019年4月にデジタル戦略部長に就任し、重点戦略であるデジタルライゼーション推進を統括。2021年4月から執行役員。2022年4月からはデジタル戦略部を改組したビジネスデザイン部の部長として、三井住友海上のビジネスモデル変革・創造の実現に向けた各種取組を統括。



ガートナー データ & アナリティクス リーダーズ サークル (D&Aリーダース サークル)

D&Aリーダース サークルは、データ&アナリティクス業務を担うリーダー向けの特別プログラムです。企業のデータ&アナリティクス業務責任者としてのリーダーシップ・スキル向上や高度なビジネス目標を達成するためのベスト・プラクティス共有の機会を提供いたします。

D&Aリーダース サークル該当条件：

売上高250億円以上の企業のデータとアナリティクスに関する業務において、予算執行や収益に責任を持ち、人事権を行使して組織を編成しており、CDOもしくはCDOに相当する『データ&アナリティクス』業務責任者、また、責任と権限の範囲がCクラスと同様である方に限らせていただいております。

※ITベンダー企業については、社内向けのデータ&アナリティクス業務における最高責任者若しくは予算の意思決定者に限ります。

※1社1名限定とさせていただきます。

お申込み方法： 貴社担当営業へお申し付けください。

※参加基準を満たさない場合は、D&Aリーダース サークルとして登録されない場合がございます。予めご了承ください。

参加特典：

1. メンバー限定ラウンドテーブルにご参加いただけます。

※積極的にディスカッションにご参加できる方となります。

2. 専用ラウンジをご利用いただけます。

※ご休憩やメンバー同士の情報交換やネットワーキング作りをしていただくためのスペースです。

主なプログラム 多様なプログラムでお客様の課題解決をサポートします。



多様なセッション

専門セッション

ガートナーのエキスパートが、それぞれの専門分野に特化したプレゼンテーションを提供します。

ゲスト基調講演

最前線で活躍しているゲストや先見的なリーダーに、最新トレンドや自社の取り組みを紹介いただけます。

パネル・ディスカッション

人材の採用／育成戦略や実践について、エキスパートとパネリストがディスカッションを行います。

ソリューション・プロバイダー・セッション

課題解決に繋がるヒントや他社事例、各社の戦略的ロードマップなど、ソリューションの最新情報とあわせて紹介します。



展示会

企業・組織が抱える優先課題を解決に導くベスト・ソリューションを会場で見つけてください。会場で実施するオープンシアター・セッションでは、次のトレンドとなるソリューションや注目の最新情報を提供します。



双方向型セッション

Ask the Expert

参加者とエキスパートによるQ&Aセッションです。トピックに関する様々な質問にガートナー・エキスパートが直接回答します。

ラウンドテーブル

エキスパートがモデレーターを務め、特定のテーマについて参加者同士で意見交換を行います。

ワークショップ

エキスパートがファシリテータを務め、特定のテーマについて深く掘り下げます。

ボードルーム・セッション

ソリューション・プロバイダーのエグゼクティブによる少人数制セッションです。



スペシャリストとの個別ミーティング

ガートナー one-on-oneミーティング

個別の課題に対して、ガートナーのエキスパートが直接回答する「1対1」型30分間の個別ミーティングです。

出展社 one-on-oneミーティング

テクノロジー・スペシャリストやソリューションの専門家との個別ミーティングは、課題解決へのヒントが満載です。

A ビジネス戦略と価値: チェンジ・メーカーによるインパクトを最適化する

コロナ禍を通じて企業が得た主たる教訓のひとつは、変化は決して止まることがなく、持続的な変革が必要だということです。この先に待ち受けるものは、「ニュー・ノーマル」ではなく「ノーマル」です。不確実性が高く、非常に曖昧で、かつてないほどの柔軟性、イノベーション、継続的な投資を必要とします。そのため、D&Aリーダーの影響力は拡大しており、ビジネスにもインパクトを及ぼすようになってきました。しかし、リソースに制約がある中、D&Aの価値を測定し、組織の最重要課題に整合させることに、あらゆる組織が難しさやプレッシャーを感じています。

本トラックでは、D&Aがどのように重要なビジネス課題を解決するか、どのようにD&Aへの投資を適正化するか、戦略とオペレーション・モデルをどう設計するかを解説します。さらに、ビジネス・リーダーにD&Aの価値を伝える方法、適切な成功指標の選定、データの収益化、先進的な組織のベスト・プラクティスにならった価値の創出方法、組織文化／スキル／役割の育成方法の再定義、人材不足の解消、データ・リテラシーへの対応などのトピックを取り上げます。

B 信頼、ガバナンス、プライバシー: 緊急性の高い重要課題

一般消費者が今最も関心を寄せているのは、多様性、プライバシー、持続可能性(サステナビリティ)といった、社会的な課題です。したがって、社会の一員として企業がこうした問題に取り組み、信頼を獲得することは極めて重要です。そうした最中、AIに代表される、あらゆる形態のデータとアナリティクスが組織に浸透し始めているため、企業は俊敏性を備えた信頼のおけるガバナンスのプラクティスやプロセス、フレームワークを整備しなくてはなりません。

本トラックでは、適応型のガバナンスやデータ品質、データ・カタログ、マスタ・データについてのベスト・プラクティスに加えて、デジタル倫理、信頼できるデータ共有、マスタ・データ管理(MDM)、プライバシーとセキュリティ、法令や規制の遵守についての指針やベスト・プラクティスを解説します。

C あらゆる場所にアナリティクスを: 意思決定を向上させ、価値を実現する

デジタル化を加速させるには、アナリティクスをあらゆるビジネス・プロセス、意思決定、アクションに組み込まなければなりません。

本トラックでは、アナリティクスを信頼のおける方法でビジネス全般の基盤とするための方法を解説します。データ・ストーリーテリング、拡張アナリティクス、組み込み型アナリティクス、コンポーザブル・アナリティクス、これらが一体となって生み出される「意思決定インテリジェンス」などの最新トレンドについても取り上げます。それらに加えて、D&Aに求められるアーキテクチャを設計する方法を探るため、クラウドやエッジでのアナリティクス、データ・レイク、データ・ファブリックなどについてもカバーします。

D 先進テクノロジーとトレンド: イノベーションを解放する

創造的破壊者となるのは容易ではありませんが、だからと言って、立ち止まってはいただけません。先見的な組織のリーダーは、革新的なテクノロジーを活用してビジネス・モデルを変え、エコシステムとの接し方やサービス提供のあり方さえも一新しようとしているからです。

本トラックでは、XOpsやシンセティック・データ、スモール&ワイド・データ、強化学習、ジェネレーティブAIなどAIや機械学習をはじめ、コンポーザブル、グラフや空間なども含めたアナリティクスの最新トレンドやイノベーションのトピックを取り上げます。



ガートナー セッション／ガートナー one-on-oneミーティング担当エキスパート

コンファレンス・チェア

一志 達也

Tatsuya Ichishi
シニア ディレクター, アナリスト



- データ管理と活用の全般に関する製品動向調査および製品選定におけるアドバイス
- 高度な予測分析 (アナリティクス) における、インフラ、ツール、人材、組織、文化など全般に関するアドバイス
- 情報資産の管理、活用における倫理や行動規範、ガバナンスなどに関するアドバイス

フランク・バウテンダイク

Frank Buytendijk
ディステイングイッシュト バイス プレジデント
アナリスト



- データ&アナリティクスの戦略、プログラム、プラクティス
- アナリティクス、BI、データ・サイエンスのソリューション
- デジタル倫理とデジタル社会
- 未来、未来主義、未来へのインパクト、未来研究
- データ&アナリティクスの成功評価指標

藤原 恒夫

Tsuneo Fujiwara
バイス プレジデント, アナリスト



- ITマネジメントとIT戦略に関するフレームワークや手法のアドバイス、デジタル化とイノベーションへの対応、ITガバナンス、グローバル化の今後、ITリーダーシップ、IT組織文化変革、データ活用、サステナビリティ

ガレス・ハーシェル

Gareth Herschel
バイス プレジデント, アナリスト



- アナリティクス、BI、データ・サイエンスのソリューション
- データ&アナリティクスの戦略
- 人工知能
- CXを改善する上でのアナリティクスの役割
- 意思決定におけるアナリティクスの役割

堀内 秀明

Hideaki Horiuchi
マネージング バイス プレジデント



- データの分析や活用に関するベスト・プラクティス

カーリー・アイディーン

Carlie Idoine
バイス プレジデント, アナリスト



- ビジネス・アナリティクス、データ・サイエンス
- アナリティクス、BI、データ・サイエンスのソリューション
- データ/アナリティクスのプログラムとプラクティス
- データ管理ソリューション

磯田 優一

Yuichi Isoda
バイス プレジデント, アナリスト



- セキュリティ・ガバナンス、戦略、マネジメント
- サイバーセキュリティ
- プライバシー

川辺 謙介

Kensuke Kawabe
シニア ディレクター, アナリスト



- 以下の項目に関する調査・分析・予測と、それに基づくお客様への提言
- CRMアプリケーション全般
- CX管理や顧客関連のアプリケーションとテクノロジー
- 顧客中心型ビジネスの実現を支援するベスト・プラクティス

亦賀 忠明

Tadaaki Mataga
ディステイングイッシュト バイス プレジデント
アナリスト



- 先進テクノロジー、未来志向
- 戦略的テクノロジー・トレンド
- クラウド・コンピューティング
- AI、量子コンピュータ、メタバース
- メインフレームの将来
- テクノロジー人材、新たなスキル、マインドセット、スタイルの獲得
- デジタル・ディスラプション、New Worldへ向けた戦略

松本 良之

Yoshi Matsumoto
ディステイングイッシュト バイス プレジデント
アドバイザリ



- CEO視点のデジタル戦略、ITグローバル化、社内政治の手法、ビジネス転換、IT戦略、CIOの役割、全社デジタル組織、M&A後のIT統合、IT機能子会社戦略、経営層および全社のデジタル啓発

ドナ・メデイロス

Donna Medeiros
シニア ディレクター, アナリスト



- データ&アナリティクスの戦略
- デジタル・トランスフォーメーションとその戦略/ポリシー/プロセスに必要なデータ&アナリティクスの活用
- リテラシーの確立、データ管理、変更管理のプラクティスに関するアドバイス

中尾 晃政

Akimasa Nakao
シニア プリンシパル, アナリスト



- ITサービスの動向分析とソーシングに関するアドバイザリ業務
- ITサービス・ベンダーの競合分析と、ベンダー選定に関するアドバイザリ業務
- SI、ソフトウェア/クラウド/サービスの契約に関するアドバイザリ業務

ガートナー セッション／ガートナー one-on-oneミーティング担当エキスパート

サリー・パーカー

Sally Parker
シニア ディレクター, アナリスト



- データ&アナリティクスの戦略
- ガバナンスにおけるベスト・プラクティス
- データ・ドリブンな文化の促進
- アナリティクス、BI、データ・サイエンスのソリューション
- MDM

ラムケ・ラマクリシュナン

Ramke Ramakrishnan
シニア ディレクター, アナリスト



- テクニカル・プロフェッショナルのための
- データ管理ソリューション
 - アナリティクスと人工知能
 - アプリケーション・アーキテクチャ／統合
 - クラウド・コンピューティング
 - 統合アーキテクチャ／プラットフォーム

アルフレッド・シム

Alfred Sim
ディレクター, アドバイザリ



- IT戦略、デジタル戦略、ITグローバル化、ITガバナンス、デジタル人材マネジメント、イノベーション推進、デジタルKPI、ITのビジネス価値可視化
- ※ガートナーone-on-oneミーティングの担当はございません。

1回30分の個別ミーティング

ガートナー one-on-one ミーティング

お客様個別の課題に対して、ガートナーのエキスパートがお答えする「1対1」型の30分間のミーティングです。エキスパートとの対話を通じてお客様の課題解決のヒントを得てください。

ワークショップ担当エグゼクティブ パートナー *ガートナーone-on-oneミーティングの担当はございません。

大澤 佳史

Yoshifumi Ozawa
エグゼクティブ パートナー
(ガートナー エグゼクティブ プログラム)



植木 康雄

Yasuo Ueki
エグゼクティブ パートナー
(ガートナー エグゼクティブ プログラム)



ガートナー データ & アナリティクス サミット

2022年9月14日(水)-16日(金)
ANAインターコンチネンタルホテル東京
gartner.com/jp/da



参加料金(1名様)

早期割引価格: 170,500円(税抜価格 155,000円)
2022年8月12日(金)まで

通常価格: 193,600円(税抜価格 176,000円)
2022年8月13日(土)- 9月13日(火)

グループ登録特典

4for3 4名様ご登録で、うち1名様分無料になります。

7for5 7名様ご登録で、うち2名様分無料になります。

10for7 10名様ご登録で、うち3名様分無料になります。

本サミットはCPE(継続教育)ポイントの付与対象イベントです。
• ISACA(情報システムコントロール協会)受講証明

開催概要

会 期: 2022年9月14日(水)-16日(金)
開催場所: ANAインターコンチネンタルホテル東京
主 催: ガートナー ジャパン株式会社

参加対象者

データ分析や戦略のリーダー	データ管理や基盤整備のリーダー	ITやデータとアナリティクスの エグゼクティブ
<ul style="list-style-type: none">- データ・サイエンスのリーダー- データ・アナリティクスやBIのリーダー- デジタル戦略やDXのリーダー	<ul style="list-style-type: none">- データ管理(MDM/品質)のリーダー- データ・ガバナンスのリーダー- ITインフラストラクチャのリーダー	<ul style="list-style-type: none">- 最高情報責任者(CIO)- 最高データ責任者(CDO)- 最高アナリティクス責任者(CAO)

お申し込み方法

gartner.com/jp/da からお申込みください。
もしくは、貴社担当営業へお申し付けください。
・お申込み確認後、登録事務局より請求書を発送いたします。
・お支払い方法、キャンセル規定の詳細は、Webサイトにてご確認ください。

お問い合わせ先

ガートナー ジャパン株式会社
ガートナー コンファレンス登録事務局
Tel : 03-6430-1810
Email : Japan.Conferences@gartner.com



多様性、柔軟性、弾力性、俊敏性など、さまざまな力の獲得と変化が求められる昨今、D&Aやデジタルのリーダーに求められるのはテクノロジーだけではありません。ステークホルダーとの協業はもちろん、事業への理解や組織運営、人材育成など、あらゆる側面における高い能力が求められています。本サミットが、同じような境遇にある皆様との出会いや対話の場となり、取り組みを進めるヒントやアイデアを獲得する機会となるようにいたします。

一志 達也 シニア ディレクター, アナリスト/コンファレンス・チェア